



発行日 令和6年1月発行 第113号
 発行元 社会医療法人 昴和会 内山病院 編集委員会
 連絡先 鹿児島県阿久根市高松町2番地
 TEL:0996-73-1551
 FAX:0996-73-4636
 Homepage <http://www.uchimt.com/>
 E-mail uchimt@uchimt.com



巻頭言・・・P1～P2	市民表彰式授賞式・・・P2
診療一口メモ・・・P3	部署紹介・・・P3
委員会活動・・・P3～4	行事・・・P4～5
編集後記・・・P5	

巻 頭 言

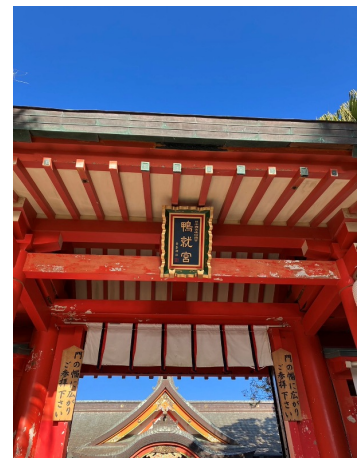
理事長 古郷 米次郎



新型コロナウイルス分類が第五類移行後早くも7ヶ月程が経過しましたが完全にこのウイルスが地球上から放逐された訳ではなく社会経済とのバランスで止む無く諸制限が緩和されたものであり、今でも医療機関・介護施設等多くの現場では厳しい感染対策は維持された状態にあります。加えてインフルエンザの流行も相まって、まさに人類の歴史は幾多の感染症との戦いの歴史でもあると云えます。原因不明の疾病が流行し新しい病原体が見つかる度に人間は苦しみ、膨大な犠牲者を出しながらも予防法・治療法が開発され多くの疾病を乗り越えてきましたが、その度に大きな社会変動を伴い多くの分野で生じるうねりとひずみは過去に経験したことの無いような変革を生み出し、時に驚くような解決法を見いだしたりもします。多

くの問題が一地域・一国家だけの問題でなくなり、地球全体の課題として議論しなければならなくなっています。パンデミックな感染症だけでなく、戦争・気候変動・政治・経済の不安定要素が人々のそれぞれの生活を苦境に追いやっています。民族・宗教・領土・覇権争い等を原因とする国際紛争は別にしても国内に目を向けたとき、円安とデフレを主要因とする経済の低迷・産業競争力の低下は日本全体の景気に影を落とし多くの分野で日本の後退・敗北を露呈している。我々は多くの予算が医療介護の分野に向けられることを望んでいるが、日本周辺の国家間の厳しい対立の中で政府は国の防衛力強化を打ち出し防衛費増大を優先、政治的力関係で不自然な分配や無駄な税金投入などいささか違和感を覚えます。このような状態の行き着く先を考えたとき、内海聡氏が漫画風に描いている「日本消滅」は、ある面では日本の現状と将来を鋭く突いているようにもあります。我々の日々の努力は高齢者・身体的弱者の人並みに生きたいとか、ごく普通の健康を維持したいという素朴な欲求に答えることであり、疲弊しながらも社会を底辺で支える職業意識としての矜持が仕事を継続するモチベーションの源泉だろうと思います。

近年、少子化による人材不足は深刻でこの地域でも医師会立看護学校や、他地域でも介護福祉士等の養成校では毎年応募者は定員不足の状態で、それぞれの医療機関・介護施設等での必要人員が確保出来なくなる時代がすでに始



まっている。その事は現場での労働力不足・就業者の高齢化で利用者への十分なサービスを提供出来なくなる事に直結する。

国の予算から見たときも 2021 年レベルで概略 医療費 4.7 兆円、介護費 11 兆円で、社会保障費全体では 138 兆円でこれは国内総生産（GDP）の 1/4 の水準に迫っているが、その分配に関しては、2024 年度の医療費・介護療養費は厳しい予算として組まれており現場職員に十分還元できる状態になっておらず納得出来るものではない。人材不足、予算（医療費・介護費の総量）不足の中で今後の医療・介護の分野で求められるものは所謂 DX（デジタルトランスフォーメーション）で IT 化と同義に使用されているが、仕事の効率化の一方で、働き方改革にも繋がると言われる。

深層学習の第一人者で AI 研究をしているカナダのヨシュア・ベンジオ氏は理解力・推理力ではまだ人間が勝っているが蓄積した知識量では AI がはるかに凌駕しており、人間に匹敵する人工知能の登場するのはさほど遠くない 5~10 年先だろうと推測している。

当法人でも電子カルテを導入してすでに 10 年以上経過したが変革の波に乗り遅れないように、今回 2 回目の大幅な改善を目指し検討した結果、少なくない資金投入の中で医療・介護を含め在宅医療まで複数分野で応用できるようなソフトの変更改善を組み込むことが出来そうである。

我々の組織はこの地域においてすでに 100 年以上経過し、一定程度の貢献を果たしてきたと認識していますが、地域住民へのサービスや、職員満足度向上のため厳しい時代を迎えても、揺るがぬ覚悟をもって社会的使命を果たす気持ちが必要であると考えます。本年も職員の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

市民表彰式授賞式

理事長 古郷 米次郎

令和 5 年 阿久根市市民表彰式（市政発展に貢献した事業所・個人が対象）が 11 月 14 日に風テラス阿久根で開催されました。地方自治部門・社会福祉部門・教育文化部門・産業経済部門の 4 部門に分かれています。私どもの昴和会は社会福祉部門の功労者として表彰されました。内容的には平成 24 年から大川診療所に医師を派遣し僻地医療に 10 年以上従事したことが主たる理由のようです。今後も可能な限り地域医療に貢献していきたいと思っております。



診療一口メモ

胸やけ、胃不快感

消化器科 松本 美由紀

食後に胸やけがする。夜、胃のあたりが熱くなり寝付けない。胃がもたれた感じがするなどの症状がある場合、寝る前3時間は食べない、消化の良いものを腹八分目にするなどの工夫でよくなることもあります。過度の胃酸分泌を抑えたり、胃の蠕動運動を助けたりまたは漢方薬などの服用で楽になる方も多いです。胃カメラ所見では異常なしでも症状のある方に薬が著効することも多く内視鏡所見よりも症状を優先して処方することが最近の消化器内科のスタンダードになってきています。当院の胃カメラ室は昨年末から移転し広くなり鎮静剤から目覚めるまでのリカバリースペースも快適になりました。症状のある方はご相談ください。

部署紹介

小規模多機能ホーム 昴和苑

小規模多機能ホーム昴和苑のスタッフは女性12名、男性2名の合計14名です。認知症になっても住み慣れた自宅での暮らしを希望されるご利用者様に、24時間・365日「通い」「訪問」「泊り」の3つのサービスを組み合わせ、毎日がハプニングの連続ですが、小規模の強みでもある柔軟性を上手く活用し、通いから訪問へ、訪問から通いへなど急な変更にも即対応できることも魅力あるサービスです。利用者様と毎日、コミュニケーションをとり、毎月行事などを行いながら利用者様とスタッフ楽しく過ごしています。昨年9月には敬老会でスタッフの演劇・パン食い競争・ボランティアによる和太鼓の演奏などを行い、利用者様やご家族の方より演奏に迫力があり感動したとお言葉を頂き楽しめました。家庭的なところがある昴和苑です。利用者もスタッフも毎日、元気に明るく笑いのたえない事業所を目指し日々推進しております。

委員会活動

看護部業務改善・記録委員会

委員長 春野 亜紀

業務改善委員会は看護・介護業務マニュアル等の技術マニュアルの作成、更新。各部署のマニュアルの見直し、看護記録の監査等実施しています。マニュアルは新人教育や日々の業務遂行に役立てられるように作成し看護行為を手技的、身体的能力（技術）を高度かつ応用的適応性豊かにと考えています。そのために統一化や一体化が必要になり質を高める事に繋がっていきと考えています

活動内容報告として

1. 各部門のマニュアル見直し
 - ① 看護業務・介護業務マニュアル作成・改訂
 - ② 看護業務・介護業務評価基準の作成
 - ③ 透析室マニュアル作成・改訂
 - ④ 外来マニュアル作成・改訂
 - ⑤ 病棟業務マニュアル作成・改訂
2. 記録監査の実施
 - ① 入院1ヶ月経過の患者対象。また、長期入院患者の監査
 - ② 監査後の確認（各病棟で確認）
3. 中央材料室での物品の一元化と管理

① 年2回の定数確認（8月、2月）滅菌切れ確認

最後にマニュアル整備を充実させるために内容を検討し修正。また記録物の充実を目指していきたいと感じています。看護記録に関して質の向上、記録の内容を中心的に監査していき、記録漏れの削減や定期的看護計画の立案と実施が出来る様取り組んでいき誰が見ても分かりやすく、カルテ開示を要求されても説明がきちんと出来る状態にしておくように取り組んでいき記録の大切さを学んで欲しいと考えています。今後システム変更により混乱や漏れが発生すると考えられます。試行錯誤しながら記録の整備を実施していくことになると思いますがよりよい記録になるように頑張っていきたいと思います。

また各部署スタッフ不足により日常の業務を行う事が精一杯。患者個別の看護の質確保が難しくなってきました。患者は多種多様化し高齢化が進むにつれて認知症状のある患者が増加し目が離せない状態が続いています。どのように対応し患者が安心して入院生活を送ることが出来るか病院全体で検討し各部署協力体制が今後必要になってくると感じていますので協力していきましょう。

行事紹介

正月料理

毎年お正月のお昼はお節弁当をお出ししています。朝はなますとお吸い物です。以前はお雑煮をお出ししていましたが、餅が危険と判断し、代わりに豆腐のおすましになってからずいぶん経ちました。制限が多く、硬い物が食べにくい患者さんが食べられるようなメニューで、ちらし寿司、煮しめ、鶏の照り焼きに、お正月らしく黒豆と栗きんとんなどをお付けしています。少しでもお正月気分を味わっていただけたらうれしいです。

令和6年1月1日「正月弁当」



<常食>



<透析食>

ちらし寿司・照り焼きチキン・煮しめ 栗きんとん・黒豆・お菓子

個人情報保護法により、早蕨掲載の写真及び名前については本人の同意を得ています。

基本理念

- 1 質の高い思いやりのある医療福祉の実現
- 2 地域に必要とされる医療福祉施設に育成・発展させる

基本方針

- 1 患者の立場に立った高齢者医療介護福祉施設の充実に積極的に寄与する
- 2 プライマリーケアを実践する中で、今までの実績の更なる積み重ねと時代の求めに応じた拡大を目指す
- 3 人材の育成
- 4 経営の安定化・事業の展開
- 5 品質管理（危機管理・安全管理・利用者の満足度向上）

患者の権利

- 1 患者様は、「平等で良質な医療を受ける権利」があります。
- 2 患者様は、「選択と自己決定の権利」があります。
- 3 患者様は、「個人の秘密保持・情報に関する権利」があります。
- 4 患者様は、「尊厳性の権利」があります。
- 5 患者様は、「安全が確保される権利」があります。

患者様の義務

- 1 患者様は、ご自身の健康に関する情報を提供する義務があります。
- 2 患者様は、病院のルールを守り、医療に参加する義務があります。
- 3 患者様は、他の患者様の医療を妨害しない義務があります。
- 4 患者様は、医療費を支払う義務があります。

編集後記

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。新年を迎えましたが、感染症の流行が継続しています。引き続き、体調管理と感染予防を徹底し、新たな一年を始めましょう。今回、早蕨原稿にご協力くださいました皆様、ありがとうございました。